

👏 こんにちは、ようこそ

ゲスト 加藤知治ガバナー補佐
吉野栄司ガバナー補佐事務局
ビジター 大森清治君(御殿場)
鈴木博行君(沼津西)

🌸 おめでとう

お誕生日 安保利和君 1964.7.18
井口賢明君 1936.7.19
小笠原良子さん 7.17
馬場文子さん 7.19
入会記念日 羽野久雄君 1990.7.17

📦 スマイルボックス

加藤ガバナー補佐：期首訪問させていただきます。2010～2011年度1年よろしくお祈りします。
井口賢明君・安保利和君：誕生日のお祝いありがとうございます。
小笠原一夫君・馬場敏彦君：妻の誕生日のお祝いありがとうございます。
羽野久雄君：入会記念日です。
小笠原一夫君：加藤ガバナー補佐よろしくお祈りします。
大塩秀樹君：加藤ガバナー補佐よろしくお祈りします。本日クラブ協議会となります。よろしくお祈りします。
奈良橋篤君：早退します。

卓話

「ガバナー補佐期首訪問」

静岡第3分区ガバナー補佐 加藤知治様

「超私の奉仕」標語の如く奉仕に共鳴しているロータリークラブそしてロータリアンの皆さん、ガバナー補佐期首訪問に際しレイ・クリンギンスミスRI会長並びに第2620地区中山正邦ガバナーの補佐役として、ご挨拶申し上げます。2010-11年度RI会長はテーマを「地域を育み、大陸をつなぐ」と示しました。改めてロータリーとは何か、ロータリークラブは何をする団体なのか、又客観的見地からロータリーの人達は金持ちで余裕の有る人達の集まりではないかと思われる現実を鑑み、ロータリアン以外の人々にもっとロータリーの目的を知ってもらうこと、ロータリアンにはロータリーの原則の重要性を再認識してもらうことが求められていると、クリンギンスミスRI会長は述べています。そしてクラブ奉仕と職業奉仕は人生を謳歌し、善き市民となるよう私達を導いてくれるものです。社会奉仕と職業奉仕を合わせる



なら、地元の地域社会をより住みやすく、働きやすい場所にする事ができるのでは、また国際奉仕は、国や大陸を異にする海外のクラブと協力し、世界理解、親善、平和を広め、世界をより良い場所にするための機会を、私達に与えるものであり、ロータリーが、ロータリークラブの連合体であると同時に、奉仕の精神から成り立っていることを忘れてはならないと語っています。更にロータリーは世界でも比類のない優れた組織で有ることは言うまでもなく、世のため人のために微力ながら奉仕するロータリーを以て右に出る団体はないとも話しております。

中山正邦地区ガバナーは標題に「ロータリアン、奉仕をクラブへ、地域へ」と掲げ、「不易流行」と言う言葉を話されました。RIは新長期計画で有り、ロータリー財団は「未来の夢計画」だと思つると同時に、ロータリーの第II世紀に向けてロータリアンの皆さんが、クラブの魅力向上とブラッシュアップへ繋げ、ロータリーの認知度を上げ、地域へ奉仕ができれば、明るい未来が広がることでしょう。各々のクラブがあつてこそロータリーは偉大であり、会員あつてこそクラブは偉大であります。すべての基本はロータリアンとクラブです。と中山ガバナーは「地区目標」の前置きとして話されています。以上はRI会長、及び地区ガバナーが地区協議会とガバナー月信にて発表されております。

冒頭申しました通りパイプ役である補佐に求められている任務は、ガバナーの意思方針を分区のクラブにお伝えし、反面クラブの計画やご意見情報をガバナーにお伝えすることと認識しております。各クラブの奉仕活動、クラブ運営等はそれぞれ内容に相違があるのは当然であります。各々のクラブが第II世紀に向つて如何に持続発展して行くかは、会員各位の双肩に掛つていると言つても過言では有りません。景気低迷と高齢化が会員減少の主たる要因で、クラブ運営に少なからず影響していることは確かです。何としても新会員の確保、会員増強はクラブにとって、大きな課題であることは申すまでもありません。性別を問わず各クラブ純増1名以上の会員増強に向け努力願ひます。

次に、奉仕活動はロータリーの認知度を上げ、地域へ奉仕の輪を広げる事が出来れば明るい未来が広がり、且ロータリアン以外の人々や地域にも大きく貢献できると思ひます。その奉仕活動についても自分達のクラブの棚卸と長期計画(2010～13年)について見直して見ることを提言します。ばらまきの奉仕でなく、一点集中的奉仕を継続することも一つの方法ではないかと考えます。クラブが会員にとって魅力有るクラブにする基本は親睦と信頼だと思ひます。会員増強と減少を食い止める事を具現するならば、クラブ奉仕が第一であつて、クラブが元気に活動することは、他の職業、国際、社会奉仕の目的も果たせるのではないのでしょうか。

いよいよ中山正邦ガバナー年度がスタートしました、第3分区ガバナー補佐としてガバナーと分区クラブの連携を保ちながら補佐の役目を進めて参りたいと考えています、ご指導ご鞭撻お祈り申し上げます。